



BUSINESS REPORT

第23期 中間株主通信

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



CONTENTS

| | |
|----------|-----------|
| ごあいさつ |P1 |
| 社長インタビュー |P2-3 |
| 新製品・新事業 |P4-5 |
| グループ一覧 |P6 |
| TOPICS |P7-8 |
| 財務ハイライト |P9 |
| 株式の状況 | P10 |

大いなる志と溢れる情熱で、
世界最高のイノベーションを創造し、
社会に貢献します。

代表取締役
杉本 重人



2020年3月期 第2四半期連結業績のご報告

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるフラットパネルディスプレイ (FPD) 市場では、大型液晶ディスプレイやスマートフォン用の中小型ディスプレイ関連の設備投資計画の一部に見直し等の動きが見られました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの受注金額は、180億1千4百万円(前年同期:232億6千7百万円)となりました。また、受注残高は739億3百万円(前年同期:1,008億円)となりました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績につきましては、売上高は350億4千6百万円(前年同期:381億4百万円)、営業利益は62億6千2百万円(前年同期:83億6千5百万円)、経常利益は62億6千9百万円(前年同期:85億8千5百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は38億8千6百万円(前年同期:57億6千4百万円)となりました。

当社グループは、世界有数の製造ソリューションプロバイダーを目指し、安定的な事業成長と売上規模の拡大を実現す

る為の様々な取り組みを推進しております。FPD関連の装置事業においては、従来のTFT技術や有機EL蒸着技術の常識を覆す革新的なレーザーアニール装置、縦型蒸着装置等の実用化を目指し、お客様と様々な挑戦を重ねています。また、FPD関連の部材やサービスの事業においては、中小型有機ELディスプレイ(中小型OLED)の量産に欠かせない高性能な蒸着マスク「ファインハイブリッドマスク(FHM®)」や、短期間で中小型OLEDの製造歩留りを改善する不良パネルの良品化サービス(サルベージサービス)など、お客様価値向上に貢献する画期的な部材やサービスの事業化に取り組んでいます。また、2018年4月には成長が期待される半導体製造装置市場へ参入し、現在は半導体ウェーハの研磨装置や検査装置、ICテスターの事業化に重点を置いた施策を行っております。

今後も株主の皆様のご期待に沿えますよう、大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し、社会に貢献していく所存です。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2019年12月
代表取締役 杉本重人

／ 社長インタビュー

ブイ・テクノロジーの「現場力」とは

当社最大の強みは「現場力」だと考えています。ひとことでは、現場の人たちの頑張りということ。日本以外にも中国、台湾、韓国に拠点がありますが、当社の現場力は国籍を問いません。日本のやり方や技術を現地で直接指導しながら、各国のマーケットにおける最適な方法に合わせて、日々現地の現場力を上げる努力をしています。このような努力を積み重ねることがお客様のリピートオーダーにつながっています。当社の装置を買って下さる理由には、性能は勿論のこと、購入後のアフターサービスや、細やかな配慮など、現場力も大きく寄与しているのだと思います。また、今後は、もっと海外拠点の人たちがリーダーシップを持って活躍できるような環境にしていきたいですね。

現場のお客様との信頼関係

開発成功の近道とは、現場の希望や悩みをいち早くキャッチして、お客様のニーズに合わせて開発していくことだと考えています。ただし、そういった情報をお客様から聞けるかどうかというのは、お客様と信頼関係があるかどうかにかかっています。「この人に相談すれば応えてくれる」という信頼を得るには、しっかりとお客



社長インタビュー

様の声に耳を傾け、迅速に行動に移すことが大切です。ですから、お客様とのコミュニケーションも、現場力を高める大事な要素の一つです。けれども、日本ではお客様も現場も少なくなってきました。今のディスプレイの世界的な中心地は中国なので、会社を成長し続けさせる為にも積極的に中国へ進出し、現地のお客様と信頼関係を築いて、新製品の開発を進めています。

成長し続けられる秘訣

当社がどうして成長し続けているかという、新しいことを恐れずにどんどん挑戦し続けているからです。

我々は毎年新しい機種もしくは新しい装置を生み出していますが、新機種や新製品には、必ず問題が発生します。新しいものはまだこなれていないので、手がかかるからです。それは機械だけの問題ではなく、社内のエンジニア同士の意見がぶつかるということも指します。毎年そういった苦労がありつつも、我々は必ずお客様のもとに製品をしっかりと納めているというのが、当社の強みです。自分が関わっている装置がより良くなるように、貢献できるようになりたいという、皆のモチベーションにも繋がり、それが結果的に「現場力」の育成にも繋がっていくのです。



中長期の成長を支える新しい製品・事業

FPD製造装置市場の技術トレンドは、液晶からOLEDに変わろうとしています。半導体製造装置市場においては、5GやIoTの世界的な普及に先駆ける設備投資がアジアを中心に各地でなされています。当社は、2つの市場における大きな変化を事業機会に変えるべく、新製品および新事業の開発に全力を尽くしています。

一方で、安定的な収益成長が見込める部材・サービス事業を立ち上げる為、技術開発と同時に現地企業との合併会社設立など、様々な取り組みを重ねています。

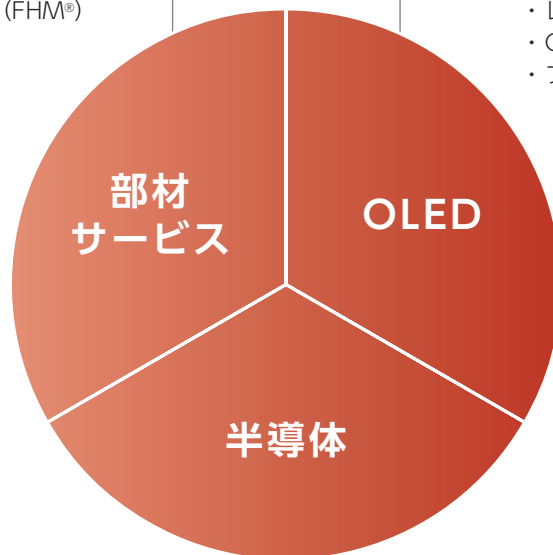
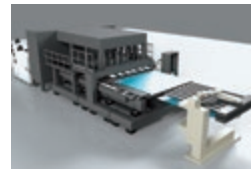
独自の技術で差別化された 部材・サービスを提供

- ・ ファインハイブリッドマスク (FHM®)
- ・ サルベージサービス
- ・ 有機EL照明
- ・ 材料の研究



ディスプレイの主流はOLEDに 高付加価値技術を開発

- ・ レーザーアニール
- ・ OLED用縦型蒸着機
- ・ フォトマスクライター



NSSを完全子会社化 半導体分野への参入加速

- ・ NAND用メモリーテスター
- ・ ウェーハ研磨装置
- ・ ウェーハ検査装置
- ・ マスクレス露光装置



3つの新しいグループ会社

OLED、半導体、部材・サービスの3分野で要となる3つの新しいグループ会社をご紹介します。

OLED

CHVT



CHOT社と共同で
TV用大型OLEDディスプレイ開発

会社名：咸陽虹微新型显示技术有限公司
(Xianyang CHVT New Display Technology Co., Ltd.)

設立：2019年8月

事業内容：新型ディスプレイおよびパーツ、その他電子部品、関連する周辺製品等の生産設備の研究開発、設計、製造および販売など。
有機EL照明製品およびパーツの受託生産。

所在地：中国陝西省咸陽市秦都区高科一路1号

出資比率：32.4%(CHOT社：67.6%)

半導体

NSS



日本で豊富な実績を誇る、
高性能なウェーハ検査装置に特化

会社名：株式会社ナノシステムソリューションズ
(NanoSystem Solutions, Inc.)

設立：2004年12月(2019年8月に子会社化)

事業内容：半導体製造装置、検査装置の開発・設計／光学関連機器の開発・設計／
画像取込および画像解析機器の開発・設計／上記内容に関わる製品の製造・販売・メンテナンス

所在地：沖縄県うるま市勝連南風原5192-8

出資比率：100%

部材
サービス

V-Tech Shining Color Technology



不良パネル(中小型OLED)の
良品化事業

会社名：微鉄克煥彩科技(昆山)有限公司
(V-Tech Shining Color Technology (Kunshan) Co., Ltd.)

設立決議日：2019年9月25日

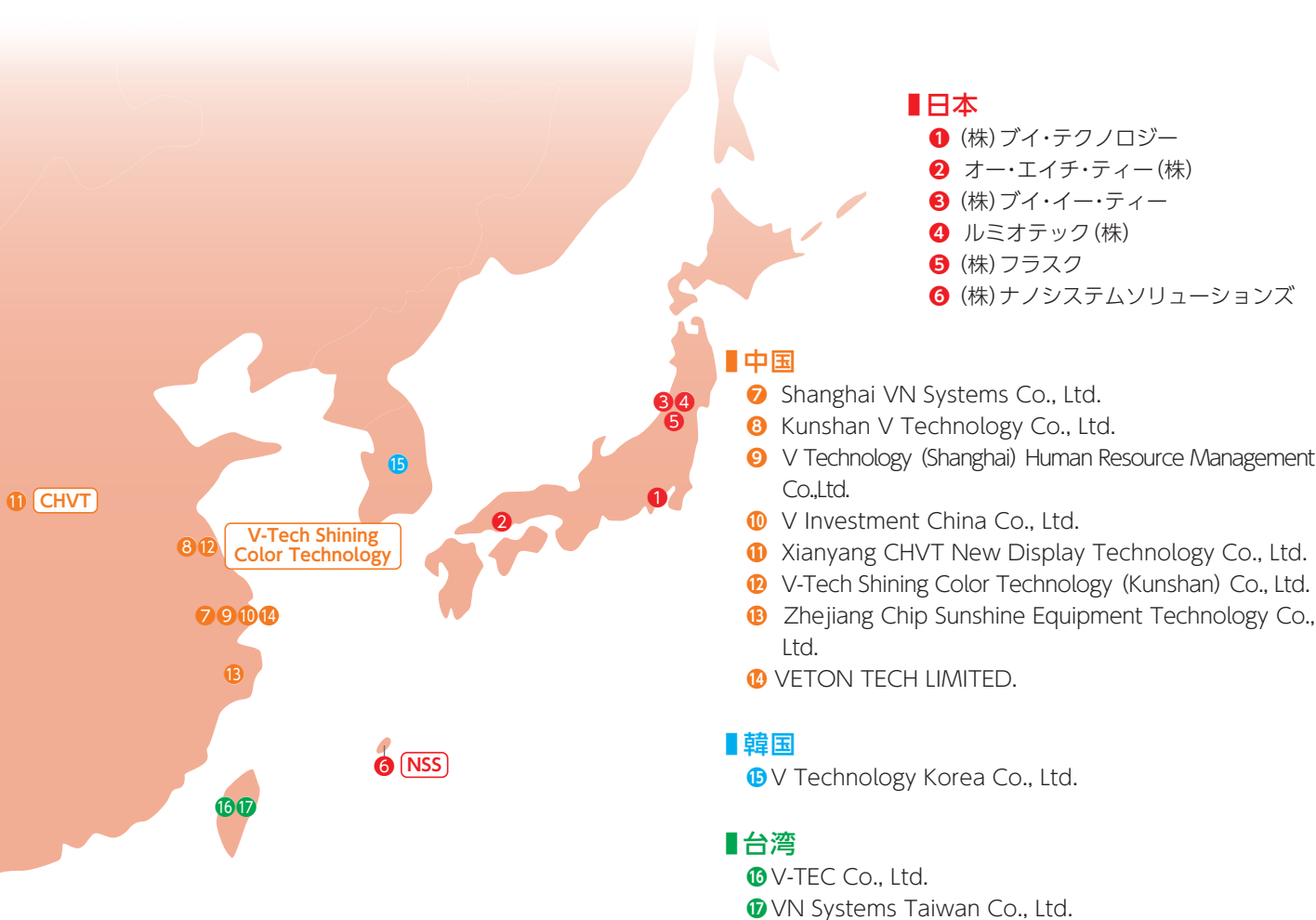
事業内容：中小型OLEDパネルの良品化サービス提供

所在地：中国昆山市

出資比率：当社100%子会社のV Investment China：50%

東アジア各地に展開するグループネットワーク

ご紹介した3社の他、東アジアのお客様に最高のサービスを提供する為に、アフターサービスを目的とした子会社を2000年より展開しています。近年は、中国での製販強化の為にKunshan V TechnologyやVETON TECHを設立した他、技術者派遣事業のV Technology (Shanghai) Human Resource Management等、ハイテク分野の様々なニーズに応える事業を機動的に展開しています。



日本

- ① (株) ブイ・テクノロジー
- ② オー・エイチ・ティー(株)
- ③ (株) ブイ・イー・ティー
- ④ ルミオテック(株)
- ⑤ (株) フラスク
- ⑥ (株) ナノシステムソリューションズ

中国

- ⑦ Shanghai VN Systems Co., Ltd.
- ⑧ Kunshan V Technology Co., Ltd.
- ⑨ V Technology (Shanghai) Human Resource Management Co.,Ltd.
- ⑩ V Investment China Co., Ltd.
- ⑪ Xianyang CHVT New Display Technology Co., Ltd.
- ⑫ V-Tech Shining Color Technology (Kunshan) Co., Ltd.
- ⑬ Zhejiang Chip Sunshine Equipment Technology Co., Ltd.
- ⑭ VETON TECH LIMITED.

韓国

- ⑮ V Technology Korea Co., Ltd.

台湾

- ⑯ V-TEC Co., Ltd.
- ⑰ VN Systems Taiwan Co., Ltd.

ブイ・テクノロジーは、 柔道を応援しています。



当社は、目標に向かって全力を尽くす次世代の柔道選手たちが世界を舞台に夢を実現する環境づくりの為に、全日本柔道連盟の様々な大会や活動にオフィシャルサプライヤーとして協賛しています。

2019年4月21日に行われた全日本女子柔道選手権「皇后盃」では当社が特別協賛し、代表取締役の杉本重人がプレゼンターとして、表彰式で選手へのメダル贈呈を行いました。

人を育む日本発の格闘技「柔道(JUDO)」の魅力

柔道は、世界中の人々から「JUDO」として愛されています。「礼に始まり礼に終わる」と言われる通り、技や体力に加え、礼節を重んじる格闘技です。選手は心身の全力を尽くし、その過程で勝ち負け問わず相手を敬う心を養い、人間的に成長していきます。柔道を観戦する人は、組み手争いや技の掛け合い、豪快な投げ技、寝技、また、一瞬の閃きで「柔よく剛を制する」姿に瞬時に魅了されてしまいます。選手たちが全力で技を繰り出す姿は美しく、私たちの心を熱くします。




各選手のゼッケンには当社ロゴが掲載されました



代表取締役 杉本重人によるメダル贈呈

TOPICS

2

 JPX-NIKKEI 400 構成銘柄に選定

当社株式が「JPX日経インデックス400」の構成銘柄として、2019年8月7日に新たに選定されましたので、ご報告いたします。

本指数は、株式会社日本取引所グループと株式会社東京証券取引所および株式会社日本経済新聞社が共同で開発した株価指数です。資本の効率的活用や投資者を意識した経営視点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」として選定された400社で構成され、日本企業の魅力を内外にアピールするとともに、その持続的な企業価値向上を促し、株式市場の活性化を図ることを目的として開発されました。

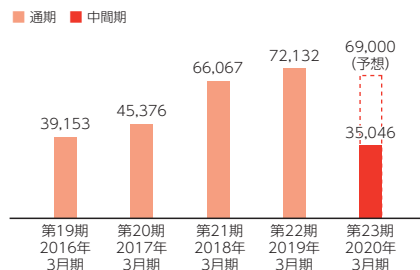
なお、当社株式は、2018年8月7日に「JPX日経中小型株指数」銘柄に採用されており、本年も引き続き採用されることとなりましたので併せてご報告いたします。

当社は、これからも、大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションの創造に取り組むと同時に、多くの投資家の皆様のご期待にお応えできますよう努めてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

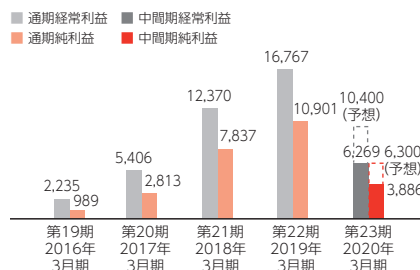


財務ハイライト(連結)

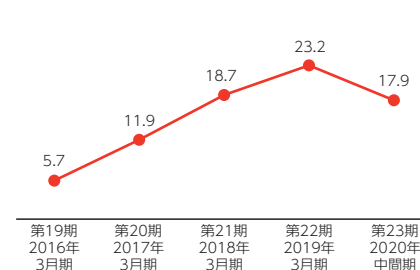
売上高 (百万円)



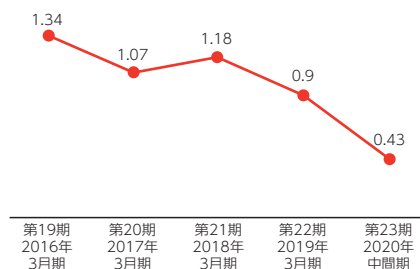
経常利益/親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



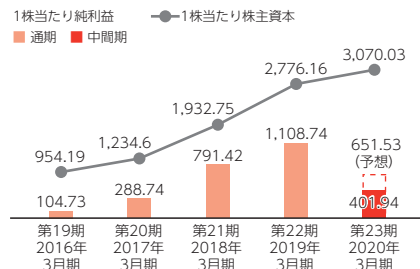
経常利益率 (%)



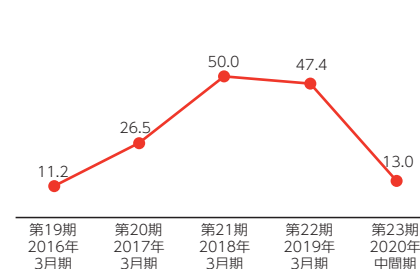
総資本回転率 (回)



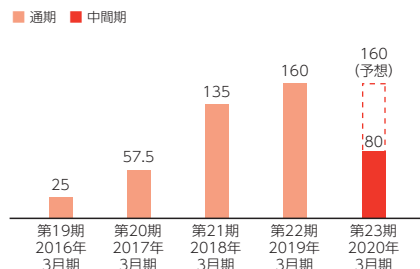
1株当たり純利益/1株当たり株主資本 (円)



ROE (%)



1株当たり配当金 (円)



【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

2020年3月期の業績予想につきまして、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移したものの、露光装置等、売上の一部について、顧客都合により来期への延伸が見込まれており、2019年5月13日に公表した数値を以下のとおり修正いたします。

2020年3月期通期の連結業績予想(11月11日時点)

| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 1株当たり 当期純利益(円) |
|-----------|--------------|---------------|---------------|--------------------------|-------------------|
| 前回発表予想(A) | 73,000 | 13,000 | 12,850 | 7,800 | 806.65 |
| 今回発表予想(B) | 69,000 | 10,500 | 10,400 | 6,300 | 651.53 |
| 増減額(B-A) | ▲4,000 | ▲2,500 | ▲2,450 | ▲1,500 | — |
| 増減率(%) | ▲5.5 | ▲19.2 | ▲19.1 | ▲19.2 | — |
| (ご参考)前期実績 | 72,132 | 16,628 | 16,767 | 10,901 | 1,108.74 |

※業績見直しについては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想には様々な不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。

(注) 1株当たりの情報については過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行っております。

株式の状況 (9月30日現在)

- 発行可能株式総数 35,180,600株
- 発行済株式総数 10,057,600株
- 株主数 9,082名

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

大株主 (上位10名)

| 株主名 | 所有株式数 | 持株比率 |
|---|------------|-------|
| 杉本重人 | 1,174,600株 | 11.7% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 431,100株 | 4.3% |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505253 | 272,400株 | 2.7% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 235,500株 | 2.3% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 187,500株 | 1.9% |
| J.P.MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 1300000 | 143,081株 | 1.4% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1) | 126,200株 | 1.3% |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | 113,810株 | 1.1% |
| STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234 | 112,800株 | 1.1% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2) | 109,000株 | 1.1% |

当社は自己株式388,111株を保有しておりますが、上記から除いております。

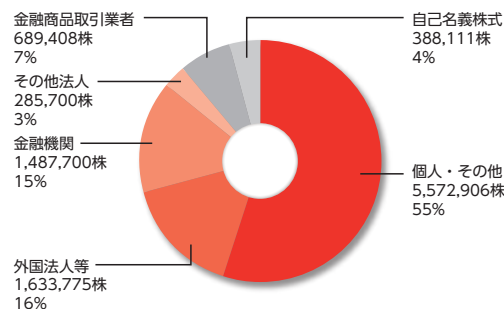
株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
 - ・期末配当金 3月31日
 - ・中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
 - ・同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 - ・同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <https://www.vtec.co.jp>

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●株式所有者別分布



会社概要 (2019年9月30日現在)

社 名 : 株式会社ブイ・テクノロジー
設 立 : 1997年10月16日
本 社 所 在 地 : 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPイーストタワー9F
TEL : 045-338-1980 FAX : 045-338-1781

取締役会

| | |
|-----------|---------|
| 代 表 取 締 役 | 杉 本 重 人 |
| 取 締 役 | 天 日 和 仁 |
| 取 締 役 | 神 澤 幸 宏 |
| 取 締 役 | 城 戸 淳 二 |
| 取 締 役 | 西 村 豪 人 |

※城戸淳二および西村豪人は社外取締役です。

監査役会

| | |
|-----------|---------|
| 常 勤 監 査 役 | 中 原 有 庸 |
| 監 査 役 | 大 倉 修 和 |
| 監 査 役 | 住 田 勲 勇 |
| 監 査 役 | 宇 田 賢 一 |

※大倉修和および宇田健一は社外監査役です。

2019年4月にWebサイトのリニューアルを行いました。投資家の皆様にとって、情報が見やすいサイト運営を心掛けております。スマートフォンにも対応しておりますので、ぜひご活用下さい。

TOPページはこちら



IR情報はこちら



UD FONT

